

平成26年度の取り組み実績 (分類 1 環境基本計画に基づく事業)

基本目標 1 きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる

環境目的	環境目標	No.	実施事項(事業名)	実施部門	実施課	H26年度実施計画	H26年度実績
1-1 空気や水がきれいで安心して暮らせるまち							
有害物質の環境への排出を防ぎます		1	環境保全協定締結	市民部	環境生活課	○環境法令で規制される施設等に対して、必要に応じて環境保全協定を締結する。 ○協定に基づき測定値等の報告をさせる。	○新たな協定の締結はない ○協定に基づく報告・行動計画の提出をさせた。
		2	野焼き禁止の周知	市民部	環境生活課	○市政だよりやFM等により周知する。 ○苦情申立があった際に対応する。	○10月1日号の市政だよりで、野焼きの禁止と、稲ワラを燃やす際の注意点等について広報を行った。 ○野焼き関係の苦情は年間で8件ほどあり、いずれも現地へ赴き、啓発チラシを配るなどして指導を行った。
		3	農業用使用済プラスチック適正処理事業	農政部	農政課	ビニールハウスやマルチ等の農業用の使用済みプラスチックの回収及びびりサイクル処理を実施する。	年2回、ビニールハウスやマルチ等の農業用の使用済みプラスチックの回収及びびりサイクル処理を実施した。
		4	環境中のダイオキシン類の調査	市民部	市民課	4号炉のダイオキシン調査を行う。	4号炉のダイオキシン調査を実施した(平成26年10月実施済。基準値内。)
		5	焼却施設のダイオキシン類対策	市民部	廃棄物対策課	道路上で死亡した小動物等の処理を、法令に基づき適正に行う。 【環境基準値】 ・排ガス 10.0ng-TEQ/m3N以下 ・焼却灰 3.0ng-TEQ/m3N以下	排ガス 0.10ng-TEQ/m3N(基準値10.0) 焼却灰 0ng-TEQ/g(基準値3.0) ※ともに環境基準値以下
有害物質による健康被害を防ぎます		6	飲用地下水調査	健康福祉部	健康増進課	○飲用地下水で汚染の可能性がある地区を重点地域とし、3地区(5地点)において年1回水質検査〔有機塩素化合物、油脂類等〕を実施する。 ○調査項目 旧会津若松地区: テトラプロピレン、トリクロエチレン、1,1,1-トリクロエチレン 旧河東地区:PH、味、臭気、色度、濁度、 塩化物イオン、一般細菌大腸菌、TOC、 硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、硬度、 蒸発残留物 鉄、ノルマルヘキサン抽出物質 計14項目	未実施
		7	水道未普及地区水量水質等調査	健康福祉部	健康増進課	○水道未普及地区の水源確保のため、水源調査(水量水質検査)を3箇所(地区)実施する。	○湊町中田(鶴ノ浦)地区、崎川(切ノ草)地区、経沢(地区東側)地区の3箇所の水源調査を実施
		8	水道水質調査	水道部	施設課	○H26水質検査計画に基づき実施する。	H26水質検査計画に基づき実施した。
		9	非飲用地下水調査の実施	市民部	環境生活課	市内9ヶ所の融雪用井戸を選定し、有機塩素化合物による地下水の汚染状況を調査。	○平成27年2~3月、市内9ヶ所の融雪用井戸を選定し、有機塩素化合物4種による地下水の汚染状況の調査を実施。 ○9地点中5地点で検出され、その内1地点で環境基準を超過した。
		10	下水浄化工場の地下水の放射線濃度の測定	建設部	下水道課	会津若松市下水浄化工場にて使用している地下水の放射線濃度を毎月測定し、その結果を公表する。	○会津若松市下水浄化工場にて使用している地下水の放射線濃度を毎月測定し、その結果、全ての調査で不検出であったことを公表した。
		11	アスベストの除去対策と市民への情報提供	市民部	環境生活課	市民への情報提供に努める。県や庁内各部署、市民から情報を収集し、アスベストの適正管理の確認・指導を行う。	○市民からの情報により、解体工事において適正管理の確認を行った。 ○市民の請求で情報公開を実施した。
		12	酸性雪調査	市民部	環境生活課	○東北都市環境問題対策協議会の共同調査により酸性雪調査を実施する。 ○調査結果を、「会津若松の環境」に掲載する。	○東北都市環境問題対策協議会の共同調査により1月19日~2月16日に酸性雪調査を実施した。 ○平成25年度の調査結果を「会津若松の環境」に掲載した。
1-2 環境と生活スタイルが調和した快適なまち							
		13	公共用水域水質調査事業	市民部	環境生活課	継続して市内主要河川及び猪苗代湖流域で水質調査を実施する。調査結果は市政だより等で公表し、市民の意識啓発に努める。	市内主要河川及び猪苗代湖流域で年間10回の水質調査を実施し、市政だより等で公表して、水質保全の啓発を行った。※H23~25年は年6回の実施

生活排水対策を推進します	14	公共下水道事業 農業集落排水事業 個別生活排水事業 浄化槽設置整備事業	建設部	下水道課	○公共下水道事業、農業集落排水事業等による処理区域の拡大を図る。 ○公共下水道事業 35工区 L=7,005m ○農業集落排水事業 2工区 L=993m ○個別生活排水事業 60基 ○浄化槽設置整備事業 43基	○公共下水道事業、農業集落排水事業等による処理区域の拡大を図った。 ○公共下水道事業 27工区 L=6,331.0m (国庫補助金額の確定等により減工) ○農業集落排水事業 2工区 L=996.2m ○個別生活排水事業 38基 (市民よりの申請により減工) ○浄化槽設置整備事業 26基 (市民よりの申請により減工)
	15	生活排水対策事業 (啓発、周知)	市民部	環境生活課	引き続き、市政だより等による広報や出前講座等による意識啓発を行う。	水質調査結果等を基に、ホームページや猪苗代湖の出前講座等で生活排水対策の啓発を行った。
	16	浄化槽設置整備事業 個別生活排水事業 (維持管理)	建設部	下水道課	○合併浄化槽設置者に対し、浄化槽講習会の開催による適正管理を指導する。(年1回) ○個別生活排水処理区域内の既存の合併処理浄化槽については、条件により市に移管を促す。	○合併浄化槽設置者に対し、平成26年10月30日に浄化槽講習会の開催し適正な維持管理を指導した。 ○個別生活排水処理区域内の既存の合併処理浄化槽については、条件の整った2基の浄化槽を市に移管した。
騒音・振動対策を推進します	17	騒音測定事業	市民部	環境生活課	○環境騒音、自動車騒音、高速自動車道騒音等の測定を実施する。	○市内の住居等に騒音計を設置し、自動車騒音の常時監視を行った。
	18	騒音規制法に基づく指導	市民部	環境生活課	○騒音規制法や福島県生活環境の保全等に関する条例による規制の周知、指導等を実施する。	○騒音に関する苦情申立があった事業所等に対し、現地調査を行った。
悪臭対策を推進します	19	悪臭調査事業	市民部	環境生活課	○過去に苦情申立があった事業所の中から、2事業所の悪臭調査を実施する。	過去に苦情のあった2事業所について悪臭分析調査を実施。福島県悪臭防止対策指針の基準を超過していた為、公害防止計画書の提出させた。
	20	悪臭防止指導	市民部	環境生活課	○過去に苦情申立があった事業所に対しパトロールを実施し、事前に防止を図る。	過去に苦情のあった2事業所に対し、パトロールを実施した。
	21	指導とパトロールの実施	市民部	廃棄物対策課	○清掃指導員や生活環境保全推進による指導・パトロールの実施	○清掃指導員による排出指導件数 3,301回 ○生活環境保全推進のパトロール件数 1,575回 ○不法投棄件数 25件 ○「家庭ごみの正しい分け方・出し方(カレンダーに付属)」の全戸配布及び市ホームページへの掲載 ○プラスチック製容器包装収集量 799t ○ペットボトル収集量 357t
その他、良好な生活環境の維持を推進します	22	会津若松市開発事業指導要綱に基づく指導の実施	建設部	都市計画課	開発行為に対する指導(随時)	工場立地に係る開発許可 0件

1-3 放射能の不安のない安心なまち

放射線量や放射性物質を調査、監視します	23	環境放射線調査事業	市民部	環境生活課	○毎月1回放射線測定を実施する。 ○春と秋に集落ごとに放射線詳細調査を実施する。	○毎月1回市内9箇所での放射線測定を実施した。 ○春(240箇所)と秋(65箇所)の詳細調査を実施した。
	24	川ざらい土砂処理業務	市民部	廃棄物対策課	○平成23年度よりも以前から仮置きしている川ざらい土砂について、広域圏の一般廃棄物最終処分場での受入を調整する。 ○平成26年度に実施する川ざらい土砂の放射能濃度を測定し、通常通りの処理が可能な放射能濃度であれば、当該土砂のふるい分けを実施する。	○川ざらい土砂について、放射性濃度の測定を実施するとともに、土のう袋やごみ等を取り除くためのふるい分け及び土砂置場までの運搬を実施した。 川ざらい土砂排出量 268t 放射能濃度 2,710Bq/kg
	25	都市公園環境放射線量測定事業	建設部	花と緑の課	○年3回、放射線測定と公表を行う。	4.7.11月の3回の測定を行い、結果について公表した。冬期間は、積雪により正確な数値が計測できないため、年3回の測定・公表とした。
	26	下水浄化工場周辺地域の環境放射線量の測定	建設部	下水道課	○会津若松市下水浄化工場への放射性物質の確認された下水汚泥の仮置きに伴い、浄化工場周辺地域の環境放射線量を隔週調査し、その結果を公表する。	○会津若松市下水浄化工場への放射性物質の確認された下水汚泥の仮置きに伴い、浄化工場周辺地域の環境放射線量を隔週調査し、その結果を公表した。
	27	浄水発生土の放射性物質検査	水道部	施設課	引き続き浄水発生土に含まれる放射性物質を検査し、市のホームページ上で公表を行う。	定期的に浄水発生土に含まれる放射性物質を検査し、市のホームページ上で公表を行った。
	28	飲料水の放射線物質検査	水道部	施設課	引き続き水道水中の放射性物質の検査を実施し、市のホームページ上で公表を行う。	定期的に水道水中に含まれる放射性物質を検査し、市のホームページ上で公表を行った。
	29	食品等放射能検査事業	健康福祉部	健康増進課	○国・県から貸与された放射能簡易分析装置を本庁含む6施設に設置し市民の自家消費農作物の放射能検査を実施	国・県から貸与された放射能簡易分析装置を本庁含む6施設に設置し市民の自家消費農作物の放射能検査を実施した。平成26年度実績 277件
	30	水道事業における放射性物質モニタリング事業	健康福祉部	健康増進課	○簡易水道事業の放射性物質のモニタリング調査を隔週で実施	簡易水道事業の放射性物質のモニタリング調査を隔週で実施
	31	米の全量全袋検査	農政部	農政課	本市産米の全量全袋について、放射性物質の検査を実施する。	基準値を超えた放射性物質は検出されず、本市産米の安全性を確認できた。

放射線物質を含む廃棄物等を適正に管理・処分します	32	吸収抑制対策事業	農政部	農政課	放射性物質の農作物への移行を低減する効果が見込まれる資材施用に支援を行う。	全袋検査等で、基準値を超えた放射性物質が検出されなかったことから、一定の効果があったと期待できる。
	33	農産物緊急時モニタリング	農政部	農政課	本市産の農作物について、出荷前に、放射性物質のモニタリング調査を行う。	基準値を超えた放射性物質は検出されず、本市産農産物の安全性を確認できた。
	34	飲用地下水の放射性物質モニタリング事業	健康福祉部	健康増進課	○食品等放射能検査事業で飲用地下水等の検査を実施	食品等放射能検査事業で飲用地下水等の検査を行った。
	35	保育所給食食材検査事業	健康福祉部	子ども保育課	○保育所給食で使用する食材の放射線量の測定を行い、測定結果を市のホームページ等により公表する。 検査実施予定：22施設×3検体×12月＝792検体	保育所給食で使用する食材の放射線量の測定を行い、測定結果を市のホームページ等により結果を公表した。 実施結果：22施設×3検体×12月＝792検体
	36	学校給食食材検査事業	教育委員会	学校教育課	学校給食で使用する食材の放射線量の測定を継続して行い、測定結果を公表する。 検査実施予定 26年4月～27年3月 検査予定検体数：約660	学校給食で使用する食材の放射線量の測定を行い、測定結果を市のホームページ等により公表した。 検査日・延べ204日×1～3検体/日＝603検体 (すべて検出下限値未満。)
	37	学校敷地内放射線量測定	教育委員会	学校教育課	平成25年度同様に、各学校・幼稚園に放射線量測定器を貸与し、校庭や側溝、砂場など定期的に測定、報告してもらおう。放射線量が高い箇所については、教育総務課、環境生活課と連携し、低減化に努める。	各幼稚園、小中学校において、毎月1回測定、報告をしてもらった。毎時0.23μSvを超える土砂等については、フレコン、ブルーシートにくるんで児童生徒が近付かない所で保管している。
	38	学校維持管理事業（学校敷地内土壌改良）	教育委員会	教育総務課	放射線量が高いところ（ホットスポット）の土砂の除去等を行う。 ※0.6マイクロベクレル以上の数値が出た場合に対応	河東中学校校地内側溝土砂の除去作業を行った。
	39	下水汚泥の放射線濃度の測定	建設部	下水道課	○会津若松市下水浄化工場等にて発生する下水汚泥の放射線濃度を毎月測定し、その結果を公表する。	○会津若松市下水浄化工場等にて発生する下水汚泥の放射線濃度を毎月測定し、その結果H26年度においては、10～34Bq/kgであったことを公表した。
	40	浄水発生土の保管	水道部	施設課	引き続き滝沢浄水場に保管している1000Bq/kg以上の浄水発生土については、処分が可能となるときまで適正に管理する。	1000Bq/kg未満の浄水発生土について、計画的に処分を進めた。また1000Bq/kg以上の浄水発生土については、これまで同様、適正に管理保管を行った。
	41	各種広報媒体を活用した放射線情報の発信	市民部	環境生活課	○毎月の放射線測定結果や年2回の詳細調査について市政だよりや市のホームページ等で公表する。 ○水道水や農産物のモニタリング結果や空間線量をラジオで公表する。 ○市放射線管理アドバイザーからの正しい情報を提供する。	○毎月の放射線測定結果や年2回の詳細調査について市政だよりや市のホームページで公表した。 ○水道水や農産物のモニタリング結果や空間線量をラジオで公表を行った。 ○放射線管理アドバイザーによる講演会の実施や放射線Q&Aをホームページで公開し、市民に対し正しい情報の提供を行った。

## 基本目標2 緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる

環境目的	環境目標	No.	実施事項（事業名）	実施部門	実施課	H26年度実施計画	H26年度実績
<b>2-1 豊かな自然環境を守り、育てるまち</b>							
生態系に配慮した土地利用を行います	42	水路工事	農政部	農林課	・水生生物に配慮した水路の維持管理を行う。	○水生生物に配慮した水路の維持管理が実施された。	
	43	指導要綱に基づく指導の実施	建設部	都市計画課	開発行為に対する指導（随時）	開発許可件数 15件 (うち緑地設置件数 2件)	
	44	森林整備地域活動交付金事業	農政部	農林課	・森林整備地域活動支援事業により間伐事業のための森林経営計画作成を支援する。	○森林経営計画作成促進のための活動、50ha。	
森林の保全と活用を図ります	45	治山事業	農政部	農林課	・自然災害等による森林の復旧を図る。 ・保安林整備事業等より保安林の整備と、荒廃森林の復旧を図る。	○流路工 整備済延長 186.7m。	
	46	林道開設事業（谷地平線・舟子線）	農政部	農林課	・林道谷地平線を開設し、森林施業に供することで森林整備を図る。	○林道谷地平線 整備済延長 122.1m。	
	47	森林病害虫等防除事業	農政部	農林課	・松くい虫やカシノナガキイムシ等の防除・駆除を図り、良好な森林への造成を図る。	○伐倒駆除251本、179.45m。	
	48	会津若松市建築業森林ボランティア、森林環境ボランティア	農政部	農林課	・会津若松市建築業森林ボランティア、森林環境ボランティアを活用し、森林づくりを推進する。	○会津若松市建築業組合森林ボランティアの実施、参加者延べ29名 ○森林環境ボランティアネットワークの実施、参加者延べ19名。	
	49	赤井谷地保存調査事業	教育委員会	文化課	流出量調査・植生諸調査・指導会議	水環境調査（5月～12月） 植生調査（9月） 指導会議（10月・3月）	
	50	文化財整備事業	教育委員会	文化課	高瀬の太木保存整備の実施	高瀬の太木整備（支柱設置、枯枝処理、プレッシング調整）	
	51	自然景観指定緑地の指定	建設部	都市計画課	景観審議会の選定により実施	指定緑地 0件 登録緑地 3件 維持管理費助成 11件	

豊かな緑と水辺地を保全、創出します

52	花と緑の推進事業	建設部	花と緑の課	○花苗生産基地において、市民協働により花苗を生産するとともに、庁舎・学校等の公共施設において、プランターを配置し緑化美化を図る。	花苗生産基地において、88,914本の花苗を生産し、100箇所の庁舎・学校等の公共施設において、プランター設置や花苗の配布を行い緑化美化を図った。
53	福島県自然公園清掃協議会への加入	観光商工部	観光課	福島県自然公園清掃協議会に加入し、河川愛護デーグリーンアップ作戦などに参加する。	福島県自然公園清掃協議会に加入し、河川愛護デーグリーンアップ作戦に参加した。
54	国土緑化推進事業	農政部	農林課	・国土緑化事業を推進する（街頭募金、グリーンスクール、エコ・カル子などもクラブ等）。	○謹教小学校 38名 ○大戸小学校 32名 ○東山小学校 100名 ○川南小学校 62名
55	緑の基本計画進行管理	建設部	花と緑の課	緑化施策の指針として活用し、市内の緑化を推進する。	進行管理を継続して実施した。
56	公共施設での緑化	市民部	市民課	畜場敷地内にて実施する。	畜場敷地内にプランターを設置して緑化を図った。
57	基幹集落センター等の緑化	農政部	農政課	基幹集落センター及び北会津農村環境改善センターにおいて、緊急雇用創出基金事業を活用し、年2～3回、樹木の手入れや草刈り等の緑地保全事業を実施する。	基幹集落センター及び北会津農村環境改善センターにおいて、緊急雇用創出基金事業を活用し、年2～3回、樹木の手入れや草刈り等の緑地保全事業を実施した。
58	東山ダム周辺清掃	水道部	施設課	○ゴミの不法投棄対応として東山ダム周辺の清掃の実施。 ○東山ダム周辺や湯川上流のパトロールを水源原水採水時に実施	○ごみの不法投棄対応として東山ダム周辺の清掃を実施した。 ○東山ダム周辺や湯川上流のパトロールを水源原水採水時に実施した。
59	市場の緑化	農政部	公設地方卸売市場	場内事業者で組織する市場協会と連携し、プランターの設置や花壇の整備を行い、緑化の創出と保全に努める。	場内事業者で組織する市場協会と連携し、プランターの設置や花壇の整備を行い、緑化の創出と保全に努めた。
60	児童館や保育所施設の緑化	健康福祉部	こども保育課	○児童館・保育所において、花壇などの緑化に努め、地域住民の意識高揚を図る	児童館・保育所において、花壇などの緑化に努め、児童や保護者、地域住民の意識高揚を図った。
61	ノーマライズ交流館の緑化	健康福祉部	障がい者支援課	ノーマライズ交流館パオパオにおいて、利用団体の協力により、緑化事業を推進する。	既存のプランター、植栽の管理を行ったが、新たな緑化活動は行わなかった。
62	下水浄化工場の緑化	建設部	下水道課	下水浄化工場の玄関付近のプランターを花で飾る。	下水浄化工場の玄関付近にプランター27基を設置し花で飾った。
63	公営住宅の緑化	建設部	建築課	公営住宅整備において緑化を推進する。	○城前団地第1期工事の植栽工事において、野芝及びトウダンツツジの植込みを設計に取り入れた。
64	水道部施設等の緑化	水道部	水道部総務課	庁舎及び各施設の花壇への花苗の植付け	庁舎及び各施設の花壇への花苗の植付け
65	公共施設での緑化	水道部	施設課	継続実施	滝沢浄水場内花壇に花苗植え付け及び東山浄水場にプランター設置。
66	ふれあい体育館等の緑化	教育委員会	スポーツ推進課	指定管理者と連携を深め、市民目線で緑化が図られるよう計画的に推進する。	指定管理者との連携を密にし、緑化環境の向上に努めた。
67	庁舎の緑化	企画政策部	北会津支所まちづくり推進課	緑化事業を継続実施する。	○プランターに花苗390本を植栽して庁舎入り口等に設置した。 ○庁舎の花壇に花苗200本を植栽した。
68	庁舎の緑化	企画政策部	河東支所まちづくり推進課	緑化事業を継続実施する。	河東支所庁舎周辺花壇に花を植栽、管理し、緑化に努めた。
69	国土緑化推進委員会事業（植樹祭・公共施設等緑化事業）	農政部	農林課	・公共施設での植樹祭の実施。 ・公共施設や町内会・老人会等へ緑化木や花の苗等の配布事業の実施。	○公共施設での植樹祭は実施せず ○公共施設緑化木配布事業の実施、22団体。
70	国際的ふるさと会津創生事業	建設部	花と緑の課	町内会等との連携により公園・緑地の維持管理を実施する。	町内会等との連携により公園・緑地の維持管理を実施した。
71	景観協定地区等における緑化等の支援	建設部	都市計画課	景観協定地区の緑化実施により支援	公開空地の緑化等に対する助成2件
72	関連公園の適切な維持管理	建設部	花と緑の課	日新町公園、住吉児童公園、諏訪公園、葉師公園、ホテルの森公園、蒲生氏郷記念公園等を維持管理する。	日新町公園、住吉児童公園、諏訪公園、葉師公園、ホテルの森公園、蒲生氏郷記念公園等の良好な公園環境保持のため、適切な維持管理を実施した。
73	鶴ヶ城公園整備事業	建設部	花と緑の課	鶴ヶ城公園内の石垣や樹木の維持管理を継続して実施する。	公園内の倒木の処理や松への薬剤注入など適正な維持管理に努めるとともに鶴ヶ城公園の受電装置の更新や重油タンクの撤去を行い適正な維持管理につとめた。
74	運動公園の整備	建設部	花と緑の課	陸上競技場周辺の外構整備を進めるとともに、公園への連絡道路に歩道照明を設置する。	陸上競技場周辺整備としてフェンスや園路の整備を行い、連絡道路の歩道に13基のLED照明を設置した。

豊かな緑と水辺地を保全、創出します

	75	公園緑地の緑化美化の推進	建設部	花と緑の課	草刈りや遊具の補修などの維持管理を実施する。	花と緑のスタッフによる年間を通じた公共花壇の維持管理を実施した。
	76	都市公園・緑地広場整備事業	建設部	花と緑の課	ホタルの森公園等の施設整備を実施する。	水路の整備と木橋の架け替えを行った。
	77	まちなみ環境整備事業	建設部	道路建設課	道路改良工を予定している。	会津若松中町線道路改良工事の完成(L=116.6m、側溝工L=240.7m、集水樹設置N=7基) 会津若松中町線道路改良工事(その2)についてはH27へ繰越した。
	78	野生生物生息環境保全事業	市民部	環境生活課	○身近な生き物基本調査会議の開催 ○自然環境教室の実施 ○圃場整備等の開発行為における野生生物生息環境保全の取り組み要請(農林課他)	○身近な生き物基本調査会議を2/16に開催 ○自然環境教室を7/12、11/9、2/7に実施(参加者合計55名) ○圃場整備等における野生生物生息環境保全の取り組みの要請を農林課等へ行った。
野生生物を適正に保護します	79	文化財整備事業	教育委員会	文化課	○再掲(赤井谷地保存調査事業) ○イトヨ生態調査の実施	赤井谷地整備事業(水環境調査、植生調査、指導会議) イトヨ生態調査(6月、10月)
	80	阿賀川河川環境整備事業(水辺の楽校)	建設部	花と緑の課	市民が快適に利用できるよう指定管理者による維持管理を継続して実施する。	指定管理者により、除草・清掃等の維持管理を継続して実施した。

2-2 美しい里山と農地を守り、活かすまち

里山を保全します	81	背炙山公園野草ゾーン整備事業	建設部	花と緑の課	○愛護会による維持管理と、見頃の花の写真掲示を継続して実施する。	愛護会による野草ゾーンの除草等の維持管理のほか、案内板へ見頃の花の写真を随時掲示した。
	82	ボランティアによる下刈り等の実施	農政部	農林課	・グリーンスクールによる市有林の下刈り。 ・会津若松市建築業組合森林ボランティアの実施。 ・森林環境ボランティアの実施。	○グリーンスクールによる市有林の下刈り、参加者、8名。 ○会津若松市建築業組合森林ボランティアの実施、参加者延べ29名。 ○森林環境ボランティアネットワークの実施、参加者延べ19名。
	83	保安林の整備	農政部	農林課	・国土防災、自然環境の維持から森林の有する多面的機能の高度発揮を目的に積極的に保安林の指定・整備を図る。	○なし。
農地を保全します	84	中山間等直接支払事業	農政部	農政課	農地の耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、適切な農業生産活動(草刈・道水路管理)を通じて環境にも配慮するよう指導する。	○農地の耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、適切な農業生産活動(草刈・道水路管理)を通じて環境にも配慮するよう指導した。 ・取組集落数 16集落 ・取組面積 231ha
	85	耕作放棄地解消対策	農政部	農政課	○耕作放棄地の引き受け手となる農業者の確保に努め、引き受け手が確定したものから、順次、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して再生作業を実施する。	○農地の所有者、地域の担い手農業者により再生作業が行われ、耕作放棄地が再生した。 ・再生面積 6.6ha ・作付作物等 そば等
	86	多面的機能直接支払事業	農政部	農政課	農業・農村の持つ多面的機能の維持のため、地域農業者等が行う共同活動を支援する。	○活動組織の設立を支援するとともに、活動組織に対し交付金を交付し、共同活動を支援するための支援を行った。 ・活動組織数 93組織 ・取組面積 4,044ha
	87	遊休農地の解消	農業委員会	農業委員会	○8月～12月に農地利用状況調査を実施し、新たに遊休化した農地や、過去に指導し改善されない遊休農地の所有者に対し指導・勧告等を行う。 ○定期に行う農地パトロールの際に、耕作放棄や不法投棄などの早期発見に努める。	○8月～11月に農地利用状況調査を実施し、遊休農地の現状を把握、遊休農地と判断された農地所有者に対し指導を行うとともに、今後の利用意向について調査を実施。(実質解消面積 1.5ha) ○4月～12月まで定期的に農地パトロールを実施。
	88	ほ場整備事業	農政部	農林課	・動植物等の保護を目的とする生息に配慮した施設の計画、整備を行なう。	○動植物等の保護を目的とする生息に配慮した施設の計画、整備を実施した。
	89	環境保全型農業直接支援事業	農政部	農政課	○エコファーマーが、カバークロップや冬期湛水などを実施し、化学肥料・化学農薬の使用量を50%以上削減する取り組みを推進する。	○エコファーマーが、カバークロップや冬期湛水などを実施し、化学肥料・化学農薬の使用量を50%以上削減する取り組みを推進した。 ・取組農家数 26戸

自然とふれ合う場を作ります	90	グリーンツーリズム支援事業	農政部	農政課	○農業農村体験の受入態勢整備、P R活動による受入れを行う。	○都市住民を対象とした農業農村体験の受入態勢を整備し、各種受入を行った。 【農業体験受入実績 4,822人】 ・グリーンツーリズム・クラブ 322名 ・ワーキングホリデー 66名 ・地域イベント型事業 230名 ・農家民宿 332名 ・農家レストラン 3,040名 ・教育体験 806名 ・菜の花フェスティバル 26名 【受入態勢整備】 ・各種交流会・学習会の開催。
	91	子どもの森整備(いにしえと夢の森整備)	教育委員会	生涯学習センター	適切に維持管理を行い、利用促進を図っていくとともに、子どもの森を活用した主催事業に取り組む。	新たに制度化した子どもの森サポーターの協力を得て管理人とともに適正に管理・維持している。平成26年度の利用人数は 人であった。また、子どもの森を会場とした主催講座を2回実施し、計48名の参加があった。
	92	小田山公園の整備	建設部	花と緑の課	給水施設の維持管理を実施する。	継続した維持管理を実施し、年度末に老朽化したポンプを交換した。
	93	七日町市民広場の整備	観光商工部	観光課	七日町市民広場の整備、維持管理を実施する。	七日町市民広場の整備、維持管理を実施した。
	94	市民農園等設置運営事業	農政部	農政課	市民農園などの農作業体験の機会を提供することを通じ、市民の農業や食に対する理解を深めます。	○農作業の体験等とおして、自然環境や農業への理解を深めた。 ・市民農園 103区画 ・ふれあい農園等 5名(75区画)
	95	自然環境教室の開催	市民部	環境生活課	○市民を対象とした自然観察会を開催する。	○自然環境教室を7/12、11/9、2/7に実施(参加者合計55名)
	96	森林浴	農政部	農林課	・会津東山自然休養林を活用し、自然観察や野鳥観察を盛り込んだ森林浴を実施する。	○森林浴、参加者43名。

### 2-3 猪苗代湖の水環境を守り、次代に引き継いでいくまち

自然汚濁・面的汚濁を低減します	97	森林環境基金森林整備事業	農政部	農林課	・森林環境税を財源とした基金により、スギ人工林の間伐事業を実施する。	○関川地区の間伐 22.39ha。
	98	エコファーマー認定制度	農政部	農政課	○農業や化学肥料を20%削減した栽培法に取り組む農業者をエコファーマーと認定し環境に優しい農業推進を図る。 ○エコファーマー取得実績(累計) ・認定者数 1,400件 ・面積 1,800 ha	○農業や化学肥料を20%削減した栽培法に取り組む農業者をエコファーマーと認定し環境に優しい農業推進を図った。 ○エコファーマー取得実績(累計) ・認定者数 811件 ・面積 1,222 ha
人為汚濁を低減します	99	農業集落排水事業 個別生活排水事業(高度処理)	建設部	下水道課	○湊町区域における農業集落排水事業の接続促進を図る。 ○湊町区域における個別生活排水事業の整備促進を図る。 湊町区域 6基	○湊町区域における農業集落排水事業の接続促進を図った。 (水洗化率92.0~93.0%) ○湊町区域における個別生活排水事業の整備促進を図った。 湊町区域 2基(市民申請により減工) (H14年度より開始した個別生活排水事業により、これまで湊地区に97基を整備)
	100	湊四浜環境整備事業	観光商工部	観光課	○崎川浜の公衆便所浄化槽の整備、維持管理をする。 ○湖水浴期間に仮設トイレを設置する ○湖水浴期間における浜の清掃実施。	○崎川浜の公衆便所浄化槽の整備、維持管理を行った。 ○湖水浴期間に仮設トイレを設置した。 ○湖水浴期間における浜の清掃実施した。
水辺環境の保全・整備促進を図ります	101	環境美化推進事業	市民部	廃棄物対策課	○各地区環境美化推進協議会(20地区)への支援・補助 ○清掃指導員、生活環境保全推進による指導・啓発	○各地区環境美化推進協議会(20地区)に対し補助金を交付し、活動の支援を実施した。 ○清掃指導員、生活環境保全推進による指導・啓発 3,301回
	102	ビーチクリーナーによる湖岸清掃	市民部	環境生活課	○猪苗代湖環境保全推進連絡会において、崎川浜、中田浜、小石ヶ浜の清掃を行う。	猪苗代湖環境保全推進連絡会において、ビーチクリーナーで6、11月に崎川浜、中田浜、小石ヶ浜の清掃を行った。
市民参加による水環境保全活動の活性化に努めます	103	猪苗代湖環境保全推進事業	市民部	環境生活課	○猪苗代湖クリーンアップの開催 ○県や猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の湖岸清掃やヨシ刈り、ヒン刈り等のボランティアについて参加の呼びかけを実施。	○猪苗代湖クリーンアップの実施(8月2日) ○県や各種団体等の湖岸清掃やヨシ刈り、水草回収等のボランティアへの参加の呼びかけを行った。
水環境保全思想の啓発促進、地	104	出前講座の開催	市民部	環境生活課	○湊小学校での出前講座の開催(年3回) ○水環境講座の開催(8月)	○湊小学校での出前講座を実施(4回) ○8月3日に水環境講座を開催した。

水環境保全に関する調査研究等の充実に努めます	105	シンポジウム、セミナー等の開催	市民部	環境生活課	○猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の水環境フォーラムや猪苗代湖環境保全推進連絡会主催の子ども交流会への参加の呼びかけを実施。	11月12日の子ども交流会や11月27日の水環境フォーラムへの参加の呼びかけを行った。
	106	公共用水域水質調査事業	市民部	環境生活課	○猪苗代湖流域で水質調査を実施する。 ○湖沼の水質保全に関する調査・研究の情報収集に努める。	○猪苗代湖流域で10回の水質調査を実施した。※H23～25年は年6回の実施 ○湖沼の水質保全に関する調査・研究の情報収集に努めた。

### 基本目標3 地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

環境目的	環境目標	No.	実施事項（事業名）	実施部門	実施課	H26年度実施計画	H26年度実績
<b>3-1 再生可能エネルギーの地産池消ができるまち</b>							
小水力発電を推進します	バイオマスエネルギーの活用を推進します	107	小水力発電事業可能性調査事業	市民部	環境生活課	市域での小水力発電の導入を促進するため、可能性調査を実施する。	委託により可能性調査を実施。（簡易調査：14地点、詳細調査：3地点）
		108	バイオマス活用推進事業	市民部	環境生活課	第2期環境基本計画に基づいて菜の花フェスティバル事業等を推進することにより、地域のバイオマス資源の活用を図る。	○下水汚泥消化ガス発電設備が稼働。 ○永和小学校などでペレットストーブが導入された。
		109	下水消化ガス発電設備設置	建設部	下水道課	消化ガスによる発電を平成26年度中での稼働を目指す。	○消化ガスによる発電（25KWHH基）を平成27年2月27日より試験運転を開始し、工事完了により施工者より引渡しがなされた平成27年3月5日より本格稼働を開始した。
		110	学校建設への太陽光発電システムの導入	教育委員会	教育総務課	鶴城小学校改築事業で導入予定	改築中
		111	住宅用太陽光発電システム設置補助金交付事業	市民部	環境生活課	住宅用太陽光発電システムの設置する場合に、費用の一部補助を実施する。（100件）	住宅用太陽光発電システムの設置する場合に、費用の一部補助を実施した。（104件 3,940,100円）
		112	新エネルギー推進事業	市民部	環境生活課	事業者による説明の実施等について、必要に応じて支援する。	27年度の正式稼働を控え、説明や情報提供について、事業者と地元住民の連絡調整に努めた。
温度差熱利用を推進します	113	温度差熱エネルギー利用の検討	市民部	環境生活課	最新の機器等の情報を収集し、導入の可能性などについて検討を行う。	新エネルギーの最新機器等の情報収集に努めた。引き続き導入可能性についての検討を継続していく。	
<b>3-2 みんなでCO<sub>2</sub>を減らすまち</b>							
建築物や住宅における省エネを推進します	114	庁舎の省エネルギー対策	総務部	総務課	本庁舎、栄町第二庁舎共に継続して、空調設備の運転管理を実施する。	本庁舎については、夏季期間において気温が低い日が多かったこともあり、電力使用量は目標を大幅に上回った。ただし、契約電力については、目標達成には至らなかったが、機器の経年劣化による数値増もある故意とを考慮すれば、制御は適正であった。 栄町第二庁舎については、夏季期間の冷房運転時は適正な制御が図られ数値目標を大きく上回ったが、冬季期間の暖房運転時において、出入口付近の室温が低いことから一時制御を解除したこともあり、基準値を超える結果となった。	
	115	庁舎の省エネルギー対策	総務部	情報政策課	クラウド環境の活用によるサーバ台数の削減や、より省電力で稼働するノートパソコン等への入替を実施した。	クラウド環境の利用により、サーバ台数の削減を行った。またパソコン導入の際、より省電力で稼働するノートパソコンを採用することにより、節電対策を実施した。	
	116	庁舎の省エネルギー対策	総務部	契約検査課	グリーン購入適合商品であるHf蛍光管の購入、交換による省エネルギー化に取り組む。	Hf型蛍光管については購入実績なし。（Hf型が製造されていない20W蛍光管を購入）	
	117	地球温暖化対策推進実行計画の推進（庁舎の省エネルギー対策）	市民部	環境生活課	庁内の環境マネジメントシステム及び省エネ法と連動しながら、「地球温暖化対策推進実行計画（第2期）」に基づき、公共施設からの二酸化炭素排出量の削減に努める。	施設担当者の研修会を開催したり、省エネセンターによる無料省エネ診断を活用し、職員和省エネ意識の向上につなげた。25年度の二酸化炭素排出量は17,972,000kg-CO <sub>2</sub> で、前年度に比べてとわずかであるが、削減できた。	
	118	事業所EMSの普及啓発	市民部	環境生活課	○事業所EMSについて、内容を見直し、一層の推進を図る。 ○事業所向けの省エネルギーセミナーや省エネ診断について、効果的な内容を検討し実施する。	○7月1日に中小事業者向け省エネルギーセミナー（参加者10名）を、10月2日に大規模事業者向け省エネルギーセミナー（参加者20名）を開催した。 ○市政だより6月1日号において、無料省エネルギー診断を案内した。	

省エネ型の生活を推進します	119	省エネルギーの推進	建設部	建築課	学校や公営住宅等の公共施設にLED照明器具や高効率冷暖房機器等を採用する。	鶴城小校舎にはLED照明器具及び高効率冷暖房機器を採用し、鶴城小屋体、城前団地第1期工事等にLED照明器具を採用し各工事中。
	120	LED防犯灯設置事業	市民部	危機管理課	公設防犯等及び町内会設置の防犯灯のLED化を進める。	町内会設置の防犯灯438/462(95%)がLEDだった。公設防犯灯5灯をLEDとし、設置した。
	121	学校建設において雨水利用システムを導入・実施する	教育委員会	教育総務課	鶴城小学校改築事業で導入予定	改築中
	122	エコドライブの推進	市民部	環境生活課	○電気自動車を活用したエコドライブ講習会を実施する。 ○市新規採用職員に対するエコドライブ講習を実施する。	○新採用職員後期研修において、エコドライブ講習会を実施した。 ○市政だより6月1日号及び11月1日号において、エコドライブ宣言者募集の記事を掲載した。また、市ホームページにおいても継続的に募集した。
	123	学校版・家庭版環境EMSの普及	市民部	環境生活課	学校版EMS及び家庭版EMSについて、内容を見直し、一層の推進を図る。	○環境フェスティバルにおいて、各学校の取り組み状況等を、壁新聞形式で発表し、情報交換を行った。(参加校32校) ○更新審査を実施し、更新対象校(5校)すべてが認定となった ○市政だより6月1日号及び市HP上において、家庭版EMS(あいわかまつエコクラブ)参加者を募集した。 ○家庭版EMS(あいわかまつエコクラブ)会員を対象に省エネキャンペーンを開催し、家庭版EMS会員の拡大を図った。
	124	水道週間街頭PR	水道部	水道部総務課	児童生徒作品展及び表彰式、東山ダム周辺クリーン作業	○児童生徒作品展 場所：会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」1階市民ギャラリー 市内および、湯川村、大熊町の小中学生画・習字・作文・標語の作品で会津若松市長賞、会津若松市議会議長賞、会津若松市教育委員会教育長賞、会津管工事協同組合理事長賞、会津若松市水道事業管理者賞の入賞作品101点の展示 ※応募作品総数 5,161点 入賞作品数 173点 ○表彰式 場所：会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」1階ホール 会津若松市長賞、会津若松市議会議長賞、会津若松市教育委員会教育長賞、会津管工事協同組合理事長賞、会津若松市水道事業管理者賞の授与 ○東山ダム周辺クリーン作業 東山ダムの周辺を水道部職員が中心となりボランティアで清掃(水道部職員17名、㈱ジェネツ5名、会津若松アクアパートナー(株)20名、会津若松管工事協同組合38名)収集実績60kg(可燃物40kg、不燃物20kg、金属類100kg)
	125	ノーカーデー事業	総務部	人事課	○ノーカーデー(毎月第四水曜日の属する週を「マイ・ノーカーデー週間」とし、マイカーによる通勤を自粛)の継続実施	平成26年度の参加率は19.2%であり、前年度より1.3ポイント上昇した。
126	ノーカーへの協力依頼	教育委員会	生涯学習総合センター	来館者や講座受講生に対し、相乗りでの来館や、公共交通機関の利用を呼びかける。	利用者に対し、利用許可書の発行時に、ノーカーへの協力依頼を行っている。	
127	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進	市民部	環境生活課	○各EMS、エコドライブ推進及びこどもエコクラブ等の各種事業を推進し、地域からの温室効果ガス削減を目指す。 ○区域施策編策定及び目標値について、各種媒体を通じて広報を行う。	○各EMS、エコドライブ推進及びこどもエコクラブ等の各種事業実施し、地球温暖化防止に向けた市民への意識啓発を行った。 ○市政だより4月1日号と同時配布した「会津若松市第2期環境基本計画(概要版)の中で、区域施策編策定及び目標値について広報を行った。	

### 3-3 再生可能エネルギーとICTを活用したまち

再生可能エネルギーの安定供給とICTの有効活用を推進します	128	北会津支所エネルギー管理事業	企画政策部	北会津支所まちづくり推進課	平成27年度新規事業	平成27年度新規事業
	129	福島県再生可能エネルギー導入等による防災拠点支援事業(市町村公共施設支援事業)	水道部	水道部総務課	市北西部に位置する水道部庁舎を防災拠点施設に位置づけ、太陽光発電設備の設計及び施工を行う。	水道部庁舎屋上に太陽光発電設備(発電量20kw)及び庁舎内に蓄電池設備(容量20kw/h)を設置した。
	130	公共施設防災機能整備事業	市民部	危機管理課	水道部庁舎を防災拠点施設に位置づけ太陽光発電を整備するとともに、松長コミュニティセンターにおける整備の設計を行う。	水道部庁舎に20kw/hの太陽光発電を設置したが、松長コミュニティセンターは設置費用と採算性がとれず、屋上防水工事の問題から設置できなかった。
	131	新エネルギーの導入促進	建設部	建築課	学校や公営住宅等の公共施設に太陽光発電等の新エネルギーを導入する。	太陽光発電を鶴城小に20KW、城前団地第1期工事に5KWを設置する設計を完了し、城前団地は工事中。
	132	消化ガスや污水管の熱の利用	建設部	下水道課	○消化ガス利用により、下水浄化工場の冷暖房を行う。	○消化ガス利用により、下水浄化工場の冷暖房を行った。
133	太陽光発電や風力発電など自然エネルギーの有効活用を図るための情報の収集・活用への検討	市民部	環境生活課	○市内における小水力発電事業の可能性調査を行い、適地情報を公開することで民間事業者の設備促進を図る。○自然エネルギーの有効活用を図るための最新の発電機器情報やその導入可能性等、情報の収集と活用への検討に努める。	○市内の再生可能エネルギーの普及状況の把握や事業者への情報提供等により再エネの普及促進に努めました。	



					<p>○エネルギーコントロールセンター構築に向けた支援と地域内のHEMS、BEMSの導入を推進する。</p> <p>○市施設において再生可能エネルギー地産地消を推進する。</p> <p>○EV車両を活用した災害時の防災拠点の機能確保とその維持を図る。</p>	<p>○エネルギーコントロールセンターが無事稼働し、来年度に実施が予定されているBEMSやHEMSの導入に向けて準備が進んでいる。</p> <p>○市の5施設で、木質バイオマス発電所で発電した電気をPPSにより購入し、地産地消を図った。</p> <p>○水道部に電気自動車1台、V2H 1基を導入し、災害時に電気自動車を非常用電源として利用できる体制を整備した。</p>
	134	スマートコミュニティ事業	企画政策部	企画調整課		
	135	電気自動車推進事業（スマートコミュニティ事業）	市民部	環境生活課	<p>公用車への電気自動車導入など、市役所としての率先実行の取り組みや、市民向け急速充電器の活用サービスなどを通じた各種啓発活動により、市内における電気自動車の普及促進に努める。</p>	<p>○水道部に電気自動車1台導入。</p> <p>○市民向け電気自動車用急速充電器の活用提供。</p> <p>○導入済公用電気自動車4台のCo2排出削減効果等の広報に努めた。</p>
環境にやさしい交通対策を進めます	136	幹線道路の整備、道路案内標識の整備	建設部	道路建設課	<p>幹I-6号線外の道路改良工事を予定している。</p>	<p>市道幹I-6号線改良舗装工事の完成（L=217.6m、舗装A=1672.9㎡、側溝L=171.7m、取付道路N=2箇所など）市道幹II-21号線道路改良工事の完成（L=367.8m、切土V=8、456.9㎡、路盤工1,663.5m、側溝(300)L=462mなど）</p>
	137	公共交通機関の利用促進	企画政策部	地域づくり課	<p>国、県、関係市町村と連携して生活路線バスの運行を確保するとともに、会津若松市地域公共交通協議会を通じ、交通事業者、行政が連携して利用促進に取り組む。</p>	<p>○国、県、関係市町村と連携して生活路線バスの運行を確保するとともに、会津若松市地域公共交通協議会を通じ、交通事業者と連携しながら利用促進に取り組んだ。</p> <p>&lt;公共交通協議会の開催数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会議：5回</li> <li>・幹事会：12回</li> </ul> <p>&lt;主な利用促進事業の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会による利用促進事業への助成（リーフレット作成、愛称募集、のぼり旗作成など）</li> <li>・みなづる号・ピカリン号絵画困苦ルール</li> <li>・交通事業者による分かりやすい時刻表の作成及び老人クラブ等への配布</li> <li>・商工会議所による高齢者運転免許自主返納支援事業</li> </ul>
	138	鉄道路線の利用促進	企画政策部	地域づくり課	<p>○会津鉄道、野岩鉄道ともに施設修繕等への支援を行うとともに、会津・野岩鉄道利用促進協議会を通じ利用促進に取り組む。また、JR只見線については福島県JR只見線復興推進会議や只見線活性化対策協議会を通じて利用促進に取り組む。</p>	<p>○会津鉄道、野岩鉄道ともに施設修繕等への支援を行うとともに、会津・野岩鉄道利用促進協議会を通じ利用促進に取り組んだ。</p> <p>&lt;協議会の会議開催数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会：1回</li> <li>・幹事会：2回</li> </ul> <p>&lt;主な利用促進事業の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会津の地域住民が利用する場合の補助</li> <li>・老人団体や学校へのチラシ配布による啓発</li> <li>・沿線地域の観光アクセスマップの作成と配布によるPR</li> </ul>
	139	ひとにやさしい歩道整備事業の実施	建設部	道路建設課	<p>一箕3-47号線外の歩道整備工事を予定している。</p>	<p>市道一箕3-47号線H25繰越工事の完成（L=64.5m、歩道幅員W=1.5m、歩道舗装A=39.0㎡、側溝L=43.2mなど）市道幹I-12号線H25繰越工事の完成（L=52.4m、歩道幅員W=2.4m、平板ブロックA=55.5㎡、側溝L=51.5mなど）市道一箕3-47号線歩道整備工事（その2）の完成（L=80.0m、歩道幅員W=1.5m、歩道舗装A=55.2㎡、側溝L=80.0mなど）市道幹I-12号線歩道舗装工事（その2）の完成（L=72.6m、歩道幅員W=2.4m、平板ブロックA=61.6㎡、側溝L=43.9mなど）市道若3-257号線歩道整備工事の完成（L=267.8m、W=2.0m、側溝L=234.8m表層工A=608.3㎡など）</p>
	140	コミュニティバスの利用促進	企画政策部	北会津支所まちづくり推進課	<p>会津若松市地域公共交通総合連携計画に位置づけた事業の着実な推進を通して利用促進を図る。</p>	<p>○ホテル祭りと連携し、臨時増便を運行。</p> <p>○利用者が、後日北会津でのフルーツ狩りでプレゼントがもらえる特典を設け、「ピカリン号」のPRと利用促進を図った。</p> <p>○利用者特典を「みなづる号」と共有化し、コミュニティバス全体の利用促進を図った。</p> <p>※平成26年度利用実績 29,718人</p>
	141	コミュニティバスの利用促進	企画政策部	河東支所まちづくり推進課	<p>会津若松市地域公共交通総合連携計画に位置づけた事業の着実な推進を通して利用促進を図る。</p>	<p>○コミュニティバス絵画コンクールや「みなづる号」乗車10万人記念事業等の実施により、利用促進を図った。</p> <p>○利用者特典を「ピカリン号」と共有化し、コミュニティバス全体の利用促進を図った。</p> <p>※平成26年度利用実績 19,539人</p>
3-4 「もったいない」が息づくまち						
	142	一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）の推進	市民部	廃棄物対策課	<p>○一般廃棄物処理基本計画に基づき事業を実施</p> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1日あたりごみ排出量 988g</li> <li>・リサイクル率 17.0%</li> </ul>	<p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1人1日あたりごみ排出量 1,113g (125g未達成)</li> <li>○リサイクル率 15.5% (1.5ポイント未達成)</li> </ul>

ごみの減量化（3R）を推進します	143	家庭ごみの分別排出の徹底と意識啓発	市民部	廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○清掃指導員による排出指導の実施</li> <li>○「家庭ごみの正しい分け方・出し方（カレンダーに付属）」の全戸配付、市ホームページへの掲載</li> <li>○収集頻度は前年度と同様</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○清掃指導員による排出指導の実施 3,301回</li> <li>○「家庭ごみの正しい分け方・出し方（カレンダーに付属）」の全戸配付、市ホームページへの掲載</li> <li>○収集頻度は前年度と同様</li> </ul>
	144	給食施設生ごみリサイクル事業	市民部	廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食施設から排出される生ごみを分別収集し、堆肥化処理を実施</li> <li>【目標値】リサイクル率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績値】</li> <li>○学校給食施設から排出される生ごみを分別収集し、堆肥化処理を実施</li> <li>○堆肥化量 106t(リサイクル率100%)</li> </ul>
	145	ごみ減量化事業補助金（生ごみ処理機等設置補助）	市民部	廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生ごみ処理機を活用し、生ごみの減量、堆肥化を図るための設置補助事業を実施 20基予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【実績値】</li> <li>家庭用生ごみ処理機 2件/40,000円</li> <li>家庭用生ごみ処理容器 15件/34,800円</li> <li>合計 17件 74,800円</li> </ul>
	146	レジ袋削減運動の推進	市民部	廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費者団体・事業者・市と締結した「レジ袋削減に関する協定」に基づき、レジ袋の辞退やマイバック持参など、ごみを出さない消費行動の普及・拡大を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月8日、9日のマイバック推進デーに協定団体と共同でPRを実施した。</li> </ul>
	147	木材資源の有効利用	水道部	施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会津若松市公共工事環境配慮実施要領に基づく型枠の効率的な利用を指導実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水管布設及びび布設替工事の工事看板に県産材を使用した。</li> </ul>
	148	下水汚泥の有効利用	建設部	下水道課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道汚泥については、今後も放射能濃度を確認しながら、コンポスト（汚泥の肥料化）等としての有効利用を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道汚泥について、放射能濃度を確認しながら、コンポスト（汚泥肥料）として市民に無料で配布し有効利用を図った。</li> </ul>
	149	浄水汚泥ケーキの減量及び有効活用	水道部	施設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放射性濃度を確認しながら有効利用可能な濃度となれば、再生材等としての有効利用を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射能濃度が高く、再生材等としての有効利用ができなかった。</li> </ul>

#### 基本目標4 環境保全をともに学び協働するまちをつくる

環境目的	環境目標	No.	実施事項（事業名）	実施部門	実施課	H26年度実施計画	H26年度実績
4-1 みんなで考え、みんなで学ぶまち							
		150	森林環境整備（交付金）事業	農政部	農林課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の適正管理の推進（事業の啓発・普及）</li> <li>・森林環境学習の推進</li> <li>・森林整備の実施</li> <li>・間伐材の利活用</li> <li>・ペレットストーブの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市立小中学校30校による森林環境学習の実施。</li> <li>○間伐材の利活用3団体。</li> <li>○ペレットストーブの導入 4台</li> </ul>
		151	「市民と共生の森の会」支援事業	農政部	農林課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ボランティア団体「市民と共生の森の会」による「森林エコ・カル子どもクラブ」への指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林エコ・カル子どもクラブ、参加者延べ156名。</li> </ul>
		152	森林環境学習事業	教育委員会	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の森林環境交付金を活用し、公立小中学校全校の総合的な学習の時間、社会科、理科、生活科、技術家庭科及び学校行事等において、森林や樹木にかかわる学習活動を実施し、森林環境についての理解の促進を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立小中学校全30校において予定していた事業を全てに完了した。各校様々な時間・場所・手法で森林環境について理解を深めることができた。</li> </ul>
		153	各種環境教室や環境講座の実施	市民部	環境生活課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然環境教室</li> <li>○市民環境教室</li> <li>○子ども環境教室</li> <li>○猪苗代湖水環境教室</li> <li>などを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然環境教室（3回）</li> <li>○子ども環境教室（4回）</li> <li>○猪苗代湖水環境講座（1回）を実施した。</li> </ul>
		154	子どもエコクラブ	市民部	環境生活課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方事務局として、加入案内等の広報を行う。</li> <li>○家庭版EMSとの連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方事務局として登録し、市校長会及び市ホームページ等により加入案内等を行った。</li> </ul>
		155	子どもエコクラブ	健康福祉部	子ども保育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○材木町児童館では子どもエコクラブを継続実施する。他の児童館においては、ゴミの分別実習、隣接児童公園での自然観察や清掃等を通じて身近な自然環境の大切さ等の意識啓蒙を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材木町児童館で子どもエコクラブを実施するとともに、他の児童館においては、ゴミの分別実習、隣接児童公園での自然観察や清掃等を通じて身近な自然環境の大切さ等の意識啓蒙を行った。</li> </ul>
		156	ホテル祭り	企画政策部	北会津支所まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北会津ホテル祭り実行委員会主催により6月21日、22日の2日間開催予定。</li> <li>○自然環境のパロメーターともいわれる「ホテル」をとおして、来場者に自然環境の美化保全に対する意識を高めてもらうとともに、ゴミの分別や廃食用油の回収コーナーを設置し、資源のリサイクルに対する意識啓蒙を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北会津ホテル祭り実行委員会主催により6月21日、22日の2日間開催した。</li> <li>○ホテル観賞案内所でのパンフレット配布や各種環境に関するPRブースの設置により、自然環境の美化保全を呼びかけた。また、廃食用油を回収してリサイクルし、環境にやさしい活動を推進した。</li> </ul>

環境学習を推進  
します

157	わらべ塾	教育委員会	大戸公民館	○自然体験・生活体験活動を中心に、生きる力や知恵、自分で考える力や集団活動を身につける。 (小学1年～6年生対象)	○6～8月にかけて、浄水場やランドセル工場で製造過程を見学したり、自然体験活動では地元を離れてサマーキャンプやバス作りを体験し、毎回10名程度の子どもたちが、楽しみながら活動した。
158	チャレンジキッズ	教育委員会	南公民館	小学校4・5・6年生を対象に、科学体験学習や自然体験活動を基本とし、子どもたちの身近な自然や環境・科学への関心を高めていく。 ○森の科学体験センターの見学、オーバーナイトハイキングなど	受講者7名は、ふくしま森の科学体験センターの移動学習をはじめ、マジック教室や唐人凧の製作、米粉を使った料理教室さらには門田地区文化祭への参加などを通して、身近な自然環境との触れ合いや、道具の使い方を学習し、技術の習得などに対する関心度が高められた。
159	げんき塾	教育委員会	一箕公民館	げんき塾(小学生4～6年生)の開催によって、主に野外活動を通して、自然環境を見つめ直す機会とする。	サマーキャンプなどでの野外活動を実施し、自然とのかかわりや自然環境保全の大切さを学習した。また、只見町ナサセンターの見学をとおして、自然との共生についても学習した。
160	少年少女探検隊	教育委員会	湊公民館	オーバーナイトハイキング、サマーキャンプ、湊町探検、工場探検など	サマーキャンプやオーバーナイトハイキングは悪天候等で実施できなかったが、湊町探検や飯盛山洞窟くぐり等の実施により自然にふれ学ぶ機会ができた。
161	トゲチョ・チャレンジ	教育委員会	北会津公民館	自然観察会、清掃ボランティア、環境研修会等	自然観察会、清掃ボランティア、環境研修会等人数は少なかったが、楽しく体験や経験ができた。
162	河っ子クラブ	教育委員会	河東公民館	ナイトハイキングを通して、ホテル観察や星空観察などを行い、自然環境保護の意識向上と体力向上を目指す。	ナイトハイキングは、悪天候のため中止したが、洞門くぐりやふれあいウォーキングへの参加など、自然に親しみ、地域の方々とふれあいや、体力の向上など、おおむね目的を達成することができた。 受講生：16名 (延べ69名参加)
163	ふれあいウォーク	教育委員会	河東公民館	自然にふれあい、自然に親しむ心を養いながらウォーキングを実施する。7月、10月の2回を予定。	夏は近隣へ出かけての自然散策、秋は地区の保健委員会と連携した河東地区内のウォーキングを実施し、世代を超えたふれあいを親睦、健康づくりへの意識高揚の啓蒙を図ることができ、おおむね目的は達成できた。 春：喜多方市高郷町地内 27名 秋：河東町八田地内 95名
164	親子ふれあい広場	教育委員会	北公民館	自然体験や創作活動などを親子で体験する。カヌー体験、パンづくりなど。	◎「川遊びを楽しむ」と題して、川の中に住む水生生物の調査やカヌー体験、川の流れの様子を体験した。 この体験を通して、川に親しみ、川の危険性や安全に楽しむにはどうしたら良いか身につけることができた。 期日：8月31日(日) 場所：阿賀川 本郷大橋上流右岸 人数：19名 ◎飯盛山洞門くぐり実施し、洞門の構造や中の様子を知り、さらに飯盛山全体の自然に触れることができた。 期日：9月28日(日) 場所：飯盛山戸ノ口堰洞門周辺 人数：37名
165	環境フェスタの開催	市民部	環境生活課	市民が豊かな自然にふれあい、学べる機会を創出するとともに、環境保全活動を実践する団体等のネットワークを形成する。	9月28日、鶴ヶ城体育館を会場に開催。(来場者数2,776人)
166	施設情報の提供	建設部	花と緑の課	継続して施設やイベント紹介の実施を指導していく。	指定管理者独自のHP等で、施設やイベント紹介など、年間を通して実施された。
167	観光施設の情報の提供	観光商工部	観光課	極上の会津ガイドブックを始め、各種媒体を活用し、自然の魅力を県内外に広くPRする。	極上の会津ガイドブックやツイッター、首都圏イベントで、自然の魅力を県内外に広くPRした。
168	環境関連図書などの資料整備事業	教育委員会	生涯学習総合センター	環境関連図書の購入に努める。	児童書から一般書まで、環境関連図書84冊の図書を受入(購入・寄贈)した。 例：「大気汚染のサバイバル」「環境を考えるBOOK全6巻」「食料と環境問題」他
169	「会津若松市の環境」の発行等による情報提供	市民部	環境生活課	平成26年度版(平成25年度報告)の「会津若松市の環境」を秋頃発行する。また、内容を市HPで公開する。	平成26年11月に、平成26年度版(平成25年度実績報告)を発行。庁内をはじめ、県内各市、各地区区長、環境美化推進協議会、小中学校等へ配布し、支所や公民館に設置を依頼。このほか、市のホームページにも掲載し、希望者に対しては冊子を配布した。
170	ホームページの掲載等、広報活動の推進	市民部	環境生活課	状況に応じて、市民や事業所に必要とされる環境に関する情報を市のホームページや市政だよりに掲載する。	○年間をとおして、市政だよりやホームページ、FMあいづ等で市民や事業所に必要とされる環境に関する情報の提供等を行った。

環境に関する情報  
を提供します

	171	あいづっこニュースによる情報の提供	教育委員会	生涯学習総合センター	子どもたちが参加できる事業について、情報誌「あいづっこニュース」等に、情報提供を行うとともに、図書館内において展示広報を行う。	○環境生活課などが行う子ども向けの事業の紹介「エコロソクを作ろう」「環境フェスタ」など ○出前講座の情報を掲載し、環境に関する出前講座の実施につなげてきた
	172	ごみの正しい分別の仕方等の情報提供	市民部	廃棄物対策課	○清掃指導員による排出指導の実施 ○「家庭ごみの正しい分け方・出し方(カレンダーに付属)」の全戸配付、市ホームページへの掲載	【実績値】 ○清掃指導員による排出指導の実施 3,301回 ○「家庭ごみの正しい分け方・出し方(カレンダーに付属)」の全戸配付、市ホームページへの掲載

4-2 協働の輪を広げ、環境にやさしいまち

市民協働を推進します	173	歴史的景観指定建造物の指定	建設部	都市計画課	景観審議会の選定により実施	指定建造物 0件 登録建造物 7件 修景工事助成 4件
	174	中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業の実施	観光工部	商工課	第2期中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業を推進します。	市民協働による「まちなか賑わいづくりプロジェクト事業」において、植樹による憩いの空間づくりや通りの誘導案内板の設置等を実施した。
	175	扇町土地区画整理事業(道路敷地内の無電柱化、都市計画道路の植栽工事)	建設部	区画整理課	道路整備においての道路敷地内の無電柱化を継続して実施する。	道路敷地内の無電柱化を実施。区画道路整備 延長 1,114.4m
	176	景観協定地区や景観形成地区の指定	建設部	都市計画課	新たな協定締結により実施	景観協定予定地区との協議
環境意識の醸成	177	地区環境美化推進協議会、クリーンふくしまへの支援	市民部	廃棄物対策課	○各地区環境美化推進協議会(20地区)への支援・補助 ○クリーンふくしま運動推進事業への支援	○各地区環境美化推進協議会(20地区)に対し補助金を交付し、活動の支援を実施した。 ○クリーンふくしま運動推進事業への支援を実施
	178	自動販売機設置に対する指導	市民部	廃棄物対策課	○会津若松市生活環境の保全等に関する条例に基づき、自動販売機設置届出及び回収容器の設置の徹底を指導	○会津若松市生活環境の保全等に関する条例に基づき、自動販売機設置届出及び回収容器の設置の徹底を指導した。
	179	美しい会津若松景観賞の表彰の実施	建設部	都市計画課	10月末に表彰式を予定	まもる賞 2件 つくる賞 0件 そだてる賞 0件 表彰
	180	環境大賞の実施	市民部	環境生活課	日ごろから省エネ活動や地域の美化活動などに取り組んでいる個人や団体・事業者を表彰し、その活動を紹介することで、市民の環境に対する意識向上を図る。	部門の名称を一部変更し、市民がイメージしやすい表彰制度の構築に努めた。26年度は数年ぶりに環境大賞に事業者が選ばれ、市内の事業者に対する環境活動への意識啓発につながった。
	181	市営駐輪場の放置自転車撤去	市民部	危機管理課	春秋2回駐輪場等の放置自転車撤去を行うとともに、高校生等への指導を行う。	春秋2回駐輪場内の放置自転車を撤去するとともに、学校ステッカーがある車両については、学校に返還し、生徒への指導をお願いした。
	182	放置自転車意識啓発、撤去	建設部	道路維持課	5月、10月に放置自転車の撤去を実施予定	(5/13、9/30)。危機管理課事業に協力して実施)
	183	各種事業における持ちかえり運動の推進(継続)	教育委員会	スポーツ推進課	○指定管理者と連携し、ゴミの持ち帰り運動をさらに徹底させる。ポイ捨て行為に対しても同様に、日常点検を計画的に進めていく。	指定管理者と連携し、スポーツ施設における利用者によるゴミの持ち帰り運動を徹底した。また、ポイ捨て行為については日常点検により減少を図った。
	184	ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議	市民部	環境生活課	○鶴ヶ城ハーフマラソン大会前に、清掃活動及び広報活動を行う。 ○ペットショップ前等において、犬ふん回収袋の配付等による啓発を行う。 ○犬ふん及びポイ捨てで困っている市民に対し、禁止の看板を無償配布する。	○「ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議」として一斉清掃・啓発活動を実施した。(10月4日鶴ヶ城ハーフマラソン大会前に会津若松市運動公園南側駐車場及び周辺道路で開催。参加者96名) ○ペットショップ前において犬ふん回収袋の配布等による啓発活動を実施した。(11月29日開催) ○啓発看板を配布した。(ポイ捨て禁止…12枚、犬ふん放置禁止…36枚) ○市政だより等に啓発記事を掲載した。
	185	不法投棄監視員及び生活環境保全推進員によるパトロールの実施	市民部	廃棄物対策課	○不法投棄監視員と生活環境保全推進員による不法投棄、ポイ捨て、犬ふん放置防止パトロールの実施	○不法投棄監視員と生活環境保全推進員による不法投棄、ポイ捨て、犬ふん放置防止パトロール件数 424件 生活環境保全推進員パトロール件数 1,575回
	186	犬ふん放置防止の周知活動	健康福祉部	健康増進課	○犬の登録時に「愛犬の手引き」を渡し周知を図る。 ○会津保健所主催の「飼い犬のしつけ方教室」の案内を行う。 ○予防注射実施通知に放置防止のチラシを同封し啓発を行う。 ○犬ふん放置者が特定した場合には、保健所と連携して飼い主に対して指導。 ○犬ふん放置禁止の看板を設置希望の市民に配布する。	○犬の登録時に「愛犬の手引き」を渡し周知を図った。平成26年度実績 359冊 ○会津保健所主催の「飼い犬のしつけ方教室」の案内を行った。 ○予防注射実施通知に放置防止のチラシを同封し啓発を行った。 ○犬ふん放置者が特定した場合には、保健所と連携して飼い主に対して指導を行った。 ○犬ふん放置禁止の看板を設置希望の市民に配布した。